

もっと知りたい？



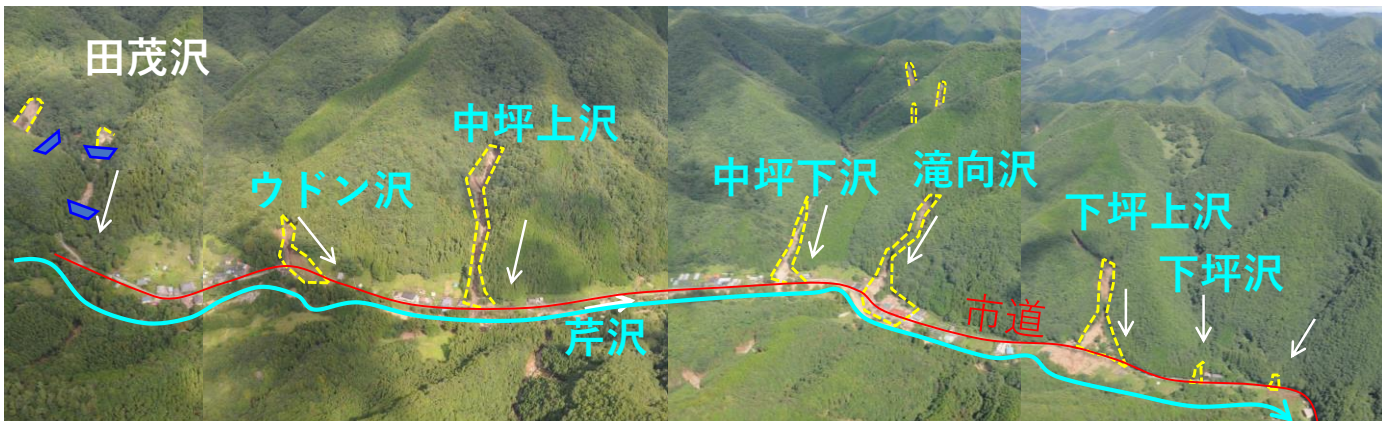
芹沢地区

◆芹沢地区とは

芹沢は男鹿川の右支川で、日光北部に位置し、流域面積は22.9km²の溪流です。周辺はスギやヒノキの人工林を交え、広範囲が国有林に指定されています。芹沢に沿って左岸側に市道芹沢線が通り、この市道ぞいに人家が立ち並ぶエリアは、後背地に複数の溪流が流入することから「土砂災害警戒区域」に指定されています。田茂沢には2基の砂防施設が整備されていました。

◆関東・東北豪雨時の被災状況と応急復旧

平成27年（2015）9月10日の午前1時ごろから、下坪沢、下坪上沢、滝向沢、中坪下沢、中坪上沢、ウドン沢、田茂沢（2箇所）の7溪流8箇所連続して土石流が発生。市道芹沢線が寸断され、住民14戸25名が孤立したほか、電力、通信、水道、放送などのライフラインも寸断されました。日光砂防事務所では、被災翌日の9月11日から土砂撤去や応急復旧対策を行い、孤立化の解消に尽力しました。



市道芹沢線の被災状況



復旧工事完了



滝向沢の被災状況



応急復旧工事完了